

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>朱雀高校の教育目標・校訓をもとに次のように定める。</p> <p>1 生徒の期待に応える「生徒本位」の学校づくりに教職員全員体制で取り組む。</p> <p>2 生徒に学ぶ主体としての自覚を持たせ、学習に励み、進路を切り拓き、社会で生き抜く力を育てる。</p> <p>3 規範意識を育てて、自らを律し、自主活動を通して他者と協働する力を育む。</p> <p>4 心身ともに健康な生徒の育成と安心・安全な学校づくりを行う。</p> <p>5 開かれた学校づくりを推進し、保護者や地域との連携を進め、理解と信頼を得る。</p> <p>6 本校全日制に学ぶ生徒が、自らに自信を持ち、明るい将来を展望し、活気のある学校生活を安心して送るための朱雀プライド計画」を積極的に推進していく。</p>	<p>成果</p> <p>(1) 「生徒たちが自らに自信と誇りを持って明るい将来を展望し、活気のある学校生活を安心して送る」ことを目指した朱雀プライド計画（制服導入・コース制導入・部活動活性化）を推進。「安心して学校生活を送ることができる」学校への変革に一定の成果をあげることができた。</p> <p>(2) 基礎基本の徹底により学習意欲の向上が見られ、転・退学、追認対象者を令和元年度より更に減少させることができた。</p> <p>(3) 生徒一人一人に丁寧に向き合い、様々な発達課題や障がいのある生徒を、卒業へと導くことができた。</p> <p>(4) コロナ禍の中、学校行事等の実施に様々な制約があったが、文化祭の府立体育館での実施等、臨機応変に対応。生徒相互の交流促進、社会性や自主性の育成を図ることができた。</p> <p>(5) 部活動加入率は令和元年度より更に向上。全国大会で活躍する生徒もいた。</p> <p>課題</p> <p>(1) 各学年、各コースにおいて基礎学力の定着を図る取組を引き続き充実させる。</p> <p>(2) 生徒の希望進路実現に向けた様々な取組をより充実させる。</p> <p>(3) 「朱雀プライド計画」第2ステージを始動し、地域から高い信頼・期待を持たれる学校へと更に進化を続ける。</p>	<p>1 活気ある学校づくり</p> <p>(1) 生徒や保護者・地域の期待に応えるため、教職員は生徒一人一人にしっかりと向き合い、厳しくかつ丁寧で手厚い指導を心掛ける。</p> <p>(2) 教職員間の意思疎通や連絡体制を円滑にするとともに、学校施設や環境の充実に努め、活気ある学校づくりを目指す。</p> <p>2 主体的な学びと進路実現</p> <p>(1) 生徒一人一人の能力や適性を踏まえた学習の充実を図るとともに、夢や希望の実現に向けた進路指導を充実させる。</p> <p>(2) 探究学習等、「好き」を見つける・「好き」を究める学びを模索するなかで、生徒の学習意欲の向上を図る。</p> <p>3 自律と自立</p> <p>(1) 身だしなみ指導等、ルールやマナーの意義を考える取組を進め、規範意識を醸成する。</p> <p>(2) 学習活動や特別活動をとおして、自己調整力や粘り強く物事に取り組む態度を育成する。</p> <p>(3) 部活動の活性化を推進し、学校に軸足を置いた学校生活を送らせるとともに、学校生活の充足感を向上させる。</p> <p>4 健康と安全</p> <p>(1) 健康安全教育を充実させ、自他のいのちを守る安全意識を育成する。</p> <p>(2) 生徒一人一人の個性を尊重し、人を思いやる心を育み、人権意識を育成する。</p> <p>5 開かれた学校づくり</p> <p>(1) 地域と連携した取組を積極的に推進する。</p> <p>(2) 「朱雀プライド計画」により変化してきた朱雀高校の良さを伝える広報活動をより一層充実させる。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策				成果と課題
組織・運営	課題の解決に向けた組織的な学校運営体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある学校づくりを目指し、学校改革プロジェクト会議を中心に学校体制の更なる充実及び活性化を図る。</li> <li>I C Tの効果的活用により迅速かつ適切な情報共有を図る。</li> <li>課題に即応した柔軟な組織運営を行う。</li> </ul>	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>朱雀プライド計画の進捗状況を点検すると共に、スクールポリシーの改定など今後の在り方について検討を進めた。</li> <li>教職員間の情報共有や意見集約等にクラウドシステムを活用し、成果を上げた。</li> <li>校務組織の見直しと分掌機能の整理・充実について協議を進めた。来年度より新しい体制で更に学校改革を進める。</li> </ul>
	校務組織の見直しと分掌機能の整理・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員組織の見直しを図り、学校運営の充実及び活性化を図る。</li> <li>効果的校務運営のために分掌機能の整理・充実を図るとともに分掌間の連携の在り方を見直す。</li> </ul>	B	B		
教務部	生徒の学力充実・学力保障に努め、すべての生徒の進級・卒業を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領の趣旨に合致し、本校の教育方針にも沿った新しい教育課程を完成させる。</li> <li>研究授業や研修会を充実させるとともに、自由参観日を実施し、教員の研鑽に努める。</li> </ul>	A	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、年間の授業計画や行事計画を様々に変更せざるを得ず、実施に至らなかった取組もあった。</li> <li>校務システムについては今年度担当者の交代があり、引き継ぎを適宜実施した。</li> <li>研修会や学校説明会は適当な時期に実施でき、成果をあげられたものと考えている。</li> <li>シラバスについては、新学習指導要領の実施により改訂を行えた。</li> </ul>
	教育活動が円滑に進むよう授業や行事の計画を立てるとともに、各分掌・各教科の企画の合理的な調整を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間の授業数を管理するとともに、行事等の精選を図り、授業時数の確保に努める。</li> <li>シラバスを充実したものにし、生徒の教育活動の充実につなげる。</li> </ul>	C	B		
	広報活動を計画的に行い、中学生の募集に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会や学校公開を適切な時期に行い、広報活動をさらに充実させる。</li> </ul>	A	A		
	校務システムの運用が教員全体のものになるよう、マニュアルを整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムに習熟する教員を増やし、継続的にシステムの管理ができるようにする。</li> </ul>	C	C		
生徒指導部	自主活動を通じた生徒の自立と自治能力を持つ生徒集団の育成。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会をサポートし、生徒の自主、自治の力を育成するとともに、委員会活動の活性化を図る。</li> <li>生徒が高校生活の過ごし方について振り返る機会をつくる。</li> <li>部活動の加入率向上を目指す。また、部活動代表者会議等の指導を通してリーダーとしての能力を育てる。</li> </ul>	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主活動の取組は、新型コロナウイルスの影響により、多くの制限があったが、可能な限り充実したものになるよう工夫した。</li> <li>部活動加入率は、昨年度より少し上昇した。</li> <li>特別指導は、昨年度から減少。年間で7件であった。</li> <li>頭髪や身だしなみの改善指導を徹底。多くの生徒にルールを順守する意識の高まりが見られた。</li> <li>中京警察署と連携し交通安全運動を推進した。ただし、自転車による交通事故が散見された。引き続き、交通安全指導の充実を図りたい。</li> <li>生徒の不適切なSNS使用が散見された。ネットリテラシー向上により努める必要がある。</li> </ul>
	生徒の規範意識の醸成。また、落ち着いた学習環境のもと、安全・安心の場をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別指導の指導件数0を目指し、各分掌・教科と連携をとる。</li> <li>全校体制で頭髪指導を行うことにより、学校のルールを守る意識を高めるとともに、高校生らしい身だしなみについて考えさせる。</li> <li>朝の遅刻指導等により、遅刻・欠課を減少させる。</li> </ul>	B	A		
	生命を大切にすることを育成し、実践させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通ルール遵守の啓発や朝の校門立ち番での交通安全についての声掛けをする。</li> <li>S N S使用のマナーについて考えさせる機会を設ける。</li> </ul>	B	B		
	生徒一人一人の特性を生かし、社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活において、遅刻欠席をしない習慣の確</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導部や学年部と連携をとり</li> </ul>

進路指導部	で活躍できる様々な能力を伸ばせるよう取り組む。	立や話し方など社会的なマナーやルールについて指導する。	B	B	<p>ながら、基本的な生活習慣の大切さを訴えかけるとともに、特定の生徒に個別で時間を守ることの大切さを指導した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路のしおりを発行できた。</li> <li>・4月と10月に進路希望調査をスタディサプリを用いて行った。</li> <li>・全学年、夏季と冬季の進学補習を行った。今年度より3年生探求コースの生徒は必修として7限選択講座を実施した。</li> <li>・学年と協力して各種模擬テストの積極的受験を呼びかけると共にほとんどの欠席者に対して最後まで受けさせることができた。</li> <li>・学年や他分掌と連携して講演会や進路ガイダンスを実施できた。</li> <li>・わーくライフビジョンで、キャリア教育を行うことができた。</li> <li>・就職ガイダンスを通して、社会人になるにあたっての自覚や意識を高めた。</li> <li>・大学生等の外部人材を活用して自習室を開放した。利用者増が課題である。</li> </ul>	
	自らが進路を主体的に拓く能力や態度を養うよう指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「進路のしおり」を発行し活用する。</li> <li>・年間計画を立て、学年と連携をとり実施する。</li> <li>・進路希望調査により、できるだけ早い時期に希望進路を明確にする。</li> <li>・分野別進路学習を実施する。</li> <li>・進学補習への積極的参加を促し、1年間継続させる。</li> <li>・各種模擬テストを積極的に受検させる。</li> <li>・学生サポートアシスタントの積極的な活用を促進する。</li> </ul>	A	B		B
	仕事の意味、働く意義を考えさせ、社会の中で生きがいのある人生を築けるよう指導し援助する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を活用し、社会人として必要な心構えや知識を身につけさせる。</li> <li>・2年生については、わーくライフビジョンへの積極的な取り組みを促す。</li> <li>・会社見学を積極的に行わせる。</li> </ul>	B	B		B
	社会に出るにあたって、自他の人権を守ることについての意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科学習や自主活動の中で、人権に関する科学的な認識と豊かな感性を育む。</li> <li>・生徒自身に働くものの権利を知らせ、働くものの自覚と権利意識を持って就職活動できるように援助する。</li> </ul>	C	B		B
保健部	健康な心と身体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断や健診結果の通知及び治療勧告の強化を図る。</li> <li>・新型コロナウイルス対応を含めた感染症対策の広報に努める。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度もコロナ感染症の対応で、様々な保健部行事の変更を余儀なくされたが、現状を踏まえた対応で、やり遂げることができた。</li> <li>・ゴミの分別収集については定着してきたものの、燃やすゴミのなかにプラスチックゴミが混ざっていることもあり、引き続き指導が必要である。</li> <li>・多様な生徒への対応について、教育相談会議等で教職員間の共通認識を深めるよう努めた。教職員の異動による意識や対応のぶれが生じないように、引き続き努めていく必要がある。</li> </ul>	
	学習環境衛生の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点清掃箇所を設ける。</li> <li>・ゴミの分別収集に努める。</li> </ul>	B	B		B
	生徒の心の健康への理解と対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援コーディネーターと教育相談会議との連携により、教育活動を推進させる。</li> <li>・健康相談の充実。</li> <li>・スクールカウンセラーとの連携を図り、教職員間の共通認識を深める。</li> </ul>	B	B		B
図書部	図書館機能を充実させ、生徒の知的興味関心を高めることにより学習を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護しながら蔵書管理システムを運用し円滑な貸出業務を行う。</li> </ul>	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出業務・資料提供とも概ね円滑にできた。</li> <li>・広報活動はより充実させたい。</li> <li>・図書委員会活動は、推薦図書紹介冊子「読まずにいられない」の発行に向け、ほとんどの委員に責務</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌や教科の教育活動を把握し、連携して適切な資料提供に務める。</li> </ul>	B			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を含め、図書館内の環境を適正化する。</li> </ul>	A			

	生涯学習を背景として、読書に親しむために、図書館の利用を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員会活動を中心に読書の啓発活動を活性化させる。</li> <li>・定期的な広報活動を行う。</li> <li>・快適な学習環境を保持するため、学校薬剤師と共に照度検査・環境衛生検査を実施し、必要に応じて改善に努める。</li> </ul>	B	B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・を全うさせることができた。</li> <li>・図書委員の協力により蔵書点検を3月に実施。</li> <li>・団体鑑賞はコロナ禍の中、制限もあったが、工夫して対応。初期の目的を達成していた。</li> <li>・照度検査を実施し、現状を客観的に確認。改善を要する状況はない。</li> </ul>
第1学年部	基本的な生活習慣を確立させると共に、規範意識を醸成させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭髪や服装等の身だしなみ指導に努め、落ち着いた学習環境を整える。</li> <li>・遅刻や欠席をなくすことを目指し、積極的に授業に取り組ませる。</li> </ul>	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの生徒は生活指導の趣旨を理解し、落ち着いた環境で学習活動に取り組むことができた。</li> <li>・多くの生徒は積極的に授業に取り組めた。また、遅刻や欠席が目立つ生徒に対しては担任が継続して改善するよう指導に取り組むことができた。</li> <li>・生徒同士のトラブルについては今後も未然防止できるよう、継続して注意していかなければならない。</li> <li>・スマートフォンの使用マナーやネットトラブルの防止については、リーフレット等を活用し継続して啓発に努めた。</li> </ul>
	他者を尊重し、お互いの人権を守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な特性を持つ生徒がいることを理解させ、他者に配慮した行動がとれるような人間を育てる。</li> <li>・携帯電話・スマートフォン等の使用マナーについて考える機会を設ける。</li> </ul>	B	B		
	自主的活動を通じた協調性と自己尊厳に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動やHR活動に積極的に参加し、自尊感情を育て、自ら考えて行動する習慣を身につけさせる。</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭代替行事やスポーツフェスティバルを実施。生徒は積極的に取り組むことができた。また、多くの生徒が部活動に参加し熱心に活動した。</li> </ul>
第2学年部	基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌・教科・家庭との連携を密にし、頭髪・服装等の身だしなみ指導に努め、落ち着いた学習環境を整える。</li> <li>・遅刻・欠席をなくし、積極的に授業に取り組ませる。</li> </ul>	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の生徒で素直に指導に従えないこともあったが、概ね指導に従い落ち着いた環境で学習ができた。</li> <li>・年間を通して遅刻や欠席が改善できない生徒は一部いたが、大半の生徒は積極的に授業に取り組めた。</li> <li>・HRの中に積極的に進路学習を取り入れた。</li> <li>・錬成コースでは、模擬試験の申込が多くない。実行に移せない生徒がみられた。</li> <li>・多くの学校行事が中止となり、思い通りに成果が出せなかった。</li> <li>・一部で人間関係のトラブルはあったが、概ね他者を思いやる態度をもつことができた。</li> </ul>
	進路に対する意識の育成と目標の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業等を通して、多様な進路に対応できる基礎学力の定着と伸長を目指す。</li> <li>・HR活動等を通して、進路意識を高め、適切な進路目標の設定を目指す。</li> </ul>	B	B		
	自主活動を通じた協調性と自己尊厳の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主活動を通して自尊感情を育て、自ら考えて行動できる習慣を身につけさせる。</li> <li>・研修旅行に向けて、「周囲に心を配る、他者を思いやる」といった協調性を育てる。</li> </ul>	B	B		
	基本的な生活習慣の確立、規範の尊重、	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌・教科担当者・家庭との連携を密にし、無</li> </ul>	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>・無断欠席は減少。遅刻が散見され、</li> </ul>

第3学年部	社会常識の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>断欠席や遅刻等の防止を図る。</li> <li>規範や社会常識に基づいた行動により、社会や生活の向上を目指させる。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣や意識の改善に課題が残った。</li> <li>身だしなみ指導等を徹底。規範意識に一定の向上が認められた。</li> <li>学力は一定伸長。進路実現への取組の早期始動に課題がみられた。</li> <li>最高学年として指導に乗って努力する姿が認められた。学校説明会への協力など、朱雀プライド計画1期生の自覚を持って行動できた。</li> <li>コロナ禍で行事開催に制限があったが、学年体育祭等において、生徒が企画・調整・運営に積極的に関わり、成功させることができた。</li> </ul>
	学力向上と進路実現に向けての行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習、7限補習、家庭学習等により進路意識を刺激する。</li> <li>中長期的な展望を持たせ、進路実現に向けてサポートしていく。</li> </ul>	B	B	
	自主的活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>最高学年としての自覚のもと部活動やボランティアに積極的に参加させる。</li> <li>各種の機会を捉えて、企画・調整・運営できる力を身につけさせる。</li> </ul>	A	A	
事務部	学校施設や環境の充実に努め、活気ある学校づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容や方法の変化に対応できる施設設備の充実に努める。</li> <li>計画的に老朽施設設備の改修に取り組む。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室のプロジェクター整備や空調設備増改修、体育館照明改修、生徒用情報端末機器接続設備工事等を実施した。トイレや外壁改修等大規模改修への取組が必要と考えている。</li> <li>就学支援を必要とする生徒に丁寧に対応することができた。</li> </ul>
	生徒の就学を支援するため、適切に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種支援制度の周知を図るとともに、適切に活用できるよう努める。</li> </ul>	A	A	

学校運営協議会による評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校改革により朱雀高校のイメージが向上。近隣の中学生に良いイメージが定着。</li> <li>大学進学率が向上するなど、進路指導の成果が見られる。</li> <li>全国大会出場など、部活動活性化の成果が見られる。</li> <li>学校が良い方向に変化していることは地域に徐々に浸透しているが、部活動の活躍などはまだ十分に伝わっていない。今年度から開始の地域向け広報誌でその活躍を初めて知ったという者もいる。朱雀高校の魅力を地域より積極的に発信してほしい。</li> <li>コロナ禍により地域住民や地元中学校等との交流がしがたい状況。コロナ収束後の交流活動に期待する。</li> </ul>
--------------	--

次年度に向けた改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>身だしなみ指導等、ルールやマナーの意義を考える取組を進めることで、生徒の規範意識の醸成がみられ、落ち着いた学習環境を提供することができている。課題ある生徒も散見されるが、個々の状況に応じた指導を引き続き工夫したい。</li> <li>学校改革「朱雀プライド計画」始動時に入学の学年が卒業。大学進学率向上をはじめとした希望進路の実現、部加入率の向上など、全体として一定の成果が見られた。現在の方向性は維持しつつ、個々の取組の成果と課題を点検し、より魅力ある学校づくりに努める必要がある。</li> <li>「朱雀高校のイメージが向上」、「近隣の中学生に良いイメージが定着」の見方がある一方で、「本校の魅力のより積極的な発信を期待」する意見もある。広報活動や地域との交流活動の充実に図りたい。</li> </ul>
---------------	--

A：十分に達成できている	B：ほぼ達成できている	C：達成できているとはいえない	D：ほとんど達成できていない
--------------	-------------	-----------------	----------------